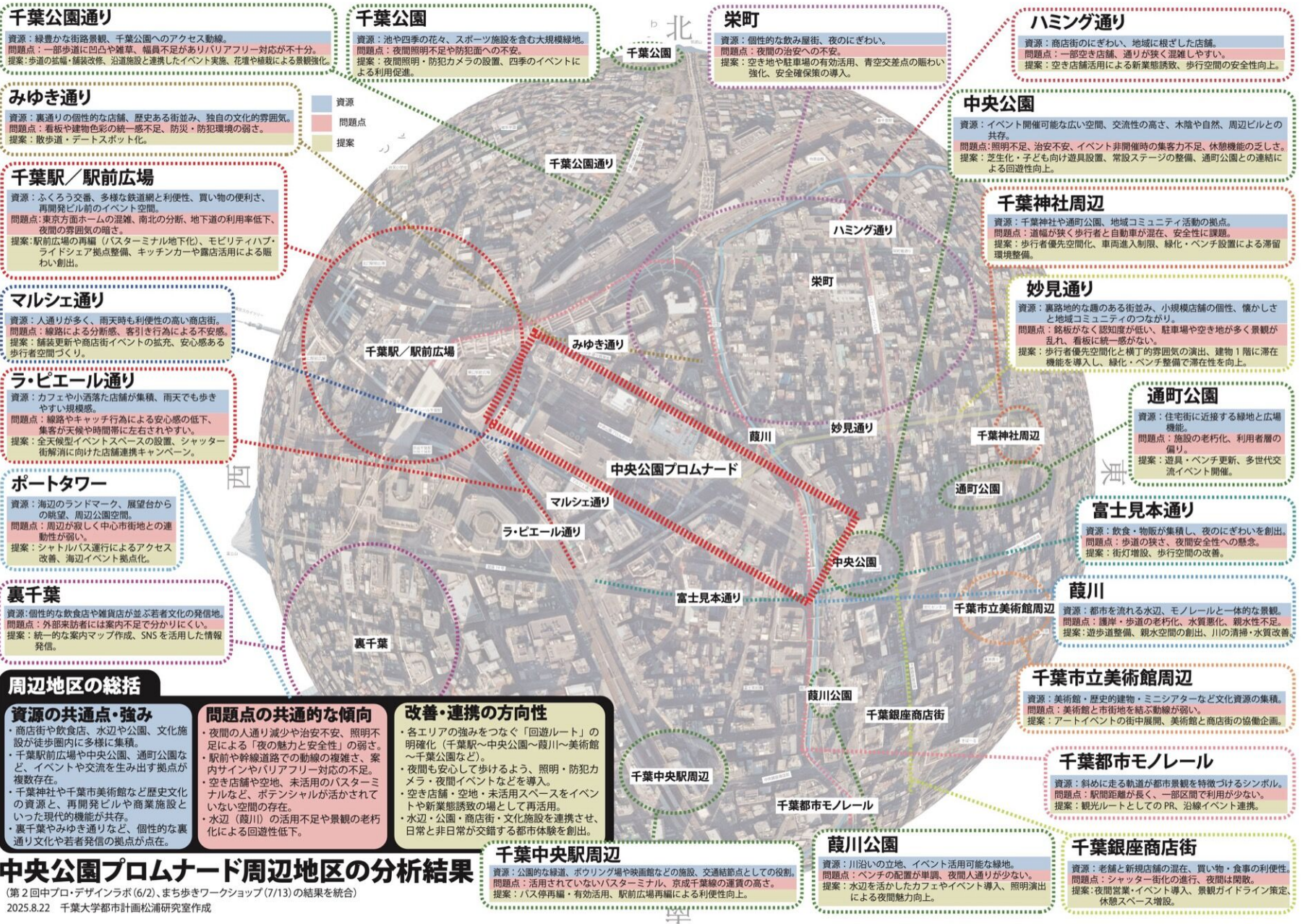




千葉公園通り

資源：緑豊かな街路景観、千葉公園へのアクセス動線。
問題点：一部歩道に凹凸や雑草、幅員不足がありバリアフリー対応が不十分。
提案：歩道の拡幅・舗装改修、沿道施設と連携したイベント実施、花壇や植栽による景観強化。

千葉公園

資源：池や四季の花々、スポーツ施設を含む大規模緑地。
問題点：夜間照明不足や防犯面への不安。
提案：夜間照明・防犯カメラの設置、四季のイベントによる利用促進。

栄町

資源：個性的な飲み屋街、夜のにぎわい。
問題点：夜間の治安への不安。
提案：空き地や駐車場の有効活用、青空交差点の賑わい強化、安全確保策の導入。

ハミング通り

資源：商店街のにぎわい、地域に根ざした店舗。
問題点：一部空き店舗、通りが狭く混雑しやすい。
提案：空き店舗活用による新業態誘致、歩行空間の安全性向上。

みゆき通り

資源：裏通りの個人的な店舗、歴史ある街並み、独自の文化的雰囲気。
問題点：看板や建物色彩の統一感不足、防災・防犯環境の弱さ。
提案：散歩道・テートスポット化。

資源
問題点
提案

中央公園

資源：イベント開催可能な広い空間、交通性の高さ、木陰や自然、周辺ビルとの共存。
問題点：照明不足、治安不安、イベント非開催時の集客力不足、休憩機能の乏しさ。
提案：芝生化・子ども向け遊具設置、常設ステージの整備、通町公園との連結による回遊性向上。

千葉神社周辺

資源：千葉神社と通町公園、地域コミュニティ活動の拠点。
問題点：道幅が狭く歩行者と自動車混在、安全性に課題。
提案：歩行者優先空間化、車両進入制限、緑化・ベンチ設置による滞留環境整備。

千葉駅／駅前広場

資源：ふくろう交番、多様な鉄道網と利便性、買い物の利便さ、再開発ビル前のイベント空間。
問題点：東京方面ホームの混雑、南北の分断、地下道の利用率低下、夜間の雰囲気暗さ。
提案：駅前広場の再編（バスターミナル地下化）、モビリティハブ・ライドシェア拠点整備、キッチンカーや露店活用による賑わい創出。

千葉公園通り

ハミング通り

ハミング通り

マルシェ通り

資源：人通りが多く、雨天時も利便性の高い商店街。
問題点：線路による分断感、客引き行為による不安感。
提案：舗装更新や商店街イベントの拡充、安心感ある歩行者空間づくり。

千葉駅／駅前広場

ハミング通り

妙見通り

資源：裏路地的な趣のある街並み、小規模店舗の個性、懐かしさと地域コミュニティのつながり。
問題点：路板がなく認知度が低い、駐車場や空き地が多く景観が乱れ、看板に統一感がない。
提案：歩行者優先空間化と横丁の雰囲気演出、建物1階に滞在機能を導入し、緑化・ベンチ整備で滞在性を向上。

ラ・ピエール通り

資源：カフェや小洒落た店舗が集積、雨天でも歩きやすい親しみ。
問題点：線路やキャッチ行為による安心感の低下、集客が天候や時間帯に左右されやすい。
提案：全天候型イベントスペースの設置、シャッター街解消に向けた店舗連携キャンペーン。

千葉駅／駅前広場

ハミング通り

通町公園

資源：住宅街に近接する緑地と広場機能。
問題点：施設の老朽化、利用者層の偏り。
提案：遊具・ベンチ更新、多世代交流イベント開催。

ポートタワー

資源：海辺のランドマーク、展望台からの眺望、周辺公園空間。
問題点：周辺が寂しく中心市街地との運動性が弱い。
提案：シャトルバス運行によるアクセス改善、海辺イベント拠点化。

ラ・ピエール通り

ハミング通り

富士見本通り

資源：飲食・物販が集積し、夜のにぎわいを創出。
問題点：歩道の狭さ、夜間安全性への懸念。
提案：街灯増設、歩行空間の改善。

裏千葉

資源：個性的な飲食店や雑貨店が並ぶ若者文化の発信地。
問題点：外部来訪者には案内不足で分かりにくい。
提案：統一的案内マップ作成、SNSを活用した情報発信。

裏千葉

ハミング通り

葭川

資源：都市を流れる水辺、モノレールと一体的な景観。
問題点：護岸・歩道の老朽化、水質悪化、親水性不足。
提案：遊歩道整備、親水空間の創出、川の清掃、水質改善。

周辺地区の総括

資源の共通点・強み

- 商店街や飲食店、水辺や公園、文化施設が徒歩圏内に多様に集積。
- 千葉駅前広場や中央公園、通町公園など、イベントや交流を生み出す拠点が複数存在。
- 千葉神社や千葉市美術館など歴史文化の資源と、再開発ビルや商業施設といった現代的功能が共存。
- 裏千葉やみゆき通りなど、個性的な裏通り文化や若者発信の拠点が点在。

問題点の共通的な傾向

- 夜間の人通り減少や治安不安、照明不足による「夜の魅力と安全性」の弱さ。
- 駅前や幹線道路での動線の複雑さ、案内サインやバリアフリー対応の不足。
- 空き店舗や空地、未活用のバスターミナルなど、ポテンシャルが活かされていない空間の存在。
- 水辺（葭川）の活用不足や景観の老朽化による回遊性低下。

改善・連携の方向性

- 各エリアの強みをつなぐ「回遊ルート」の明確化（千葉駅～中央公園～葭川～美術館～千葉公園など）。
- 夜間も安心して歩けるよう、照明・防犯カメラ・夜間イベントなどを導入。
- 空き店舗・空地・未活用スペースをイベントや新業態誘致の場として再活用。
- 水辺・公園・商店街・文化施設を連携させ、日常と非日常が交錯する都市体験を創出。

千葉市立美術館周辺

資源：都市を流れる水辺、モノレールと一体的な景観。
問題点：護岸・歩道の老朽化、水質悪化、親水性不足。
提案：遊歩道整備、親水空間の創出、川の清掃、水質改善。

中央公園プロムナード周辺地区の分析結果

(第2回中プロ・デザインラボ(6/2)、まち歩きワークショップ(7/13)の結果を統合)
2025.8.22 千葉大学都市計画松浦研究室作成

千葉中央駅周辺

資源：公園的な緑道、ボウリング場や映画館などの施設、交通結節点としての役割。
問題点：活用されていないバスターミナル、京成千葉線の運賃の高さ。
提案：バス停再編・有効活用、駅前広場再編による利便性向上。

千葉中央駅周辺

千葉市立美術館

資源：美術館・歴史的建物・ミニシアターなど文化資源の集積。
問題点：美術館と市街地を結ぶ動線が弱い。
提案：アートイベントの街中展開、美術館と商店街の協働企画。

中央公園プロムナード周辺地区の分析結果

(第2回中プロ・デザインラボ(6/2)、まち歩きワークショップ(7/13)の結果を統合)
2025.8.22 千葉大学都市計画松浦研究室作成

千葉中央駅周辺

葭川公園

資源：川沿いの立地、イベント活用可能な緑地。
問題点：ベンチの配置が単調、夜間人通りが少ない。
提案：水辺を活かしたカフェやイベント導入、照明演出による夜間魅力向上。

千葉銀座商店街

資源：老舗と新規店舗の混在、買い物・食事の利便性。
問題点：シャッター街化の進行、夜間は閑散。
提案：夜間営業・イベント導入、景観ガイドライン策定、休憩スペース増設。

中央公園プロムナードの分析

資源

- ・山武ベンチ・パークレットや花のプランター、ケヤキの街路樹がつくる緑豊かな景観。
- ・電柱・電線がなく、駅方向まで視界が抜ける開放感。
- ・千葉都市モノレール沿いに位置し、都市的な広がりを感じられる。
- ・滞留できるベンチや空間が点在し、千葉駅～葭川～中央公園～通町公園～千葉神社へとつながる都市回遊軸を形成。
- ・広告や建物の壁面が比較的整然としており、街並みに統一感がある。

問題点

- ・ケヤキの過剰剪定により緑陰が減少し、夏季の暑熱環境が厳しい。
- ・歩道は凹凸や補修不良が目立ち、バリアフリーに欠ける。
- ・山武ベンチパークレット・パークレットテラス周辺でタバコのポイ捨てや喫煙マナー違反が散見される。
- ・滞留空間の日陰不足により、夏は利用が減少。
- ・飲食店舗の少なさや周辺商店街との連動性が弱く、「通過空間」としての性格が強い。

周辺地区との関係性

- ・北側は千葉駅・みゆき通り・栄町・ハミング通り、南側はマルシェ通り・ラ・ビエール通り・中央公園・富士見エリアへと接続し、東西の商店街とも交差する位置にある。
- ・水辺（葭川）、文化施設（千葉市美術館）、商業エリア（千葉銀座・裏千葉等）へのアクセス動線の一部を担う。
- ・周辺地区の課題である「回遊性不足」「夜間の賑わい不足」を改善する潜在力をもつ。



中央公園プロムナードのまちづくりのアイデアの整理

ハード面(空間整備)

緑陰回復と快適性向上: ケヤキを自然な樹形で育成し、緑陰と四季の変化を楽しめる環境を整備。

歩行環境改善: バリアフリー化、舗装の更新・段差解消、歩道幅員確保。

滞留スポット整備: 日陰付きベンチ、ストリートファニチャー、パブリックアートを設置。

景観演出: 夜間照明やライトアップ、舗装・壁面デザインの統一による魅力的な景観づくり。

ソフト面(利用促進・運営)

日常利用促進: キッチンカー・移動販売・マルシェ・ストリートパフォーマンスの定期開催。

夜間魅力向上: ライトアップイベントやナイトマーケットで夜の賑わいを創出。

地域連携: 商店街・公園・水辺と連動したイベント(例: 緑と水のフェス、アートウィーク)を実施。

ネットワーク形成

回遊ルートの明確化: 千葉公園～千葉駅～中央公園～葭川～美術館を結ぶウォーキングルートを設定。

案内・サイン強化: 多言語対応の案内板、エリアマップ、デジタルサイネージを整備。

周辺地区との連動: イベント情報の共有やプロモーションにより、来訪者をエリア全体に回遊させる仕組みを構築。